令和元年度がスタートしました。昨年度に引き続き、日頃の「雑感」を綴ってまいります。ご笑覧いただけましたら幸いです。

All for one, and one for all.　№24

＊エイリョウ・アラカルト　「Joint Concert」



夢の共演が実現しました。道内屈指の実力を持つ旭川商業高校さんとの合同コンサートが、２日（木）旭川市民文化会館を会場に行われ、多数の皆様に足を運んでいただきました。

異なる曲想を手がけてきた両校サウンドの融合は、まさにこのコンサートでしか味わうことのできない奇跡のコラボです。

第１部、第２部では各校の単独ステージ、第３部では金管と木管によるシャッフルステージや合同ステージと、生徒たちの最高の演奏とパフォーマンスを堪能していただけたのではないでしょうか。

今後も道北を代表する吹奏楽部として､切磋琢磨しながら成長し続けて欲しいものです。

All for one, and one for all.　№25

R1. 5. 7　「前期生徒総会」

７校時に前期生徒総会が開かれ、昨年度の活動・決算報告、今年度の活動・予算案等について話し合いがなされました。

例年以上の質問や意見に、生徒会執行部が一つ一つ丁寧に回答します。特に生徒会行事（学校祭・体育大会等）の日程や内容については活発な議論がなされました。



また、ボランティア活動の回数や時期についても、新たな意見や要望がありました。

学校の伝統は、教師だけではなく生徒が一緒になって作り上げるものです。執行部を中心に、生徒の積極的な言動を今後も尊重していきます。

All for one, and one for all.　№26

R1. 5. 8　「キャリア集会・進路保護者説明会」

進路希望を実現する上で最も重要なのが２年次の過ごし方です｡明確な進路希望を持ち、学習意欲を継続させるには、将来の展望を描き、そこまでの道筋を見定め、それに向けた具体的な計画を立てなければなりません。



本校では開校時から「進路ガイダンス」を重視し、あらゆる機会を活用して、生徒と保護者により具体的な情報提供をするよう努めています。

今の時代、生徒の進路希望は多岐にわたり、将来の職業観も随分と変わってきています。単に上級学校に進むということではなく、

どんな学校のどんな学部でどんな力を身につけることが自分にとって必要なのか、生徒だけではなく、保護者の皆様にも一緒になって考えていただければと思います。
　この日も１５０名近くの保護者の皆様がご来校くださり、熱心に耳を傾けてくださいました。ご家庭においても進路について多くの会話を持っていただくことをお願いします。

All for one, and one for all.　№27

R1. 5.9～11　「宿泊研修」

　１年次生最大の行事とも言える宿泊研修を、国立大雪青少年交流の家で実施しました。集団行動を通して良好な人間関係を築くことや、高校生活全般に係るガイダンスを柱とした各種研修を行います。
　様々な中学校から入学した生徒たちがこの研修を通して親交を深め合い、レクリエーションや合唱、学校祭クラス討議などでクラスメイトとの結束を固めます。また、高校生活の過ごし方や進路に係る各種ガイダンスを通して、３年間のやるべきことをプラニングします。さらに、集団生活を通して社会性を育み、道徳心を高め、協働することの大切さを学びます。



　２泊３日とはいえ、意識や言動に大きな変化が見られるのがこの宿泊研修です。帰ってきた生徒の表情や雰囲気にも成長が覗われ、今後の活躍がとても楽しみです。

All for one, and one for all.　№28

R1. 5.10　「高野連春季大会」

　５月中旬から一斉に始まる高体連に先駆け、高野連春季大会がスタルヒン球場で開催されました。初戦の相手は強敵旭川西高。前半は互いに点数の取り合い、後半は接戦の末、７対４で勝利することができました。
　今後は、１７日からの卓球（本校が当番校）、弓道を皮切りに、２１日からはテニス、サッカー、バレー、２２日からはバスケット、陸上、剣道、２７日からはバドミントンと地区大会が続きます。練習の成果を存分に発揮してくれることを期待しています！

All for one, and one for all.　№29

R1. 5.15～17　「当番校」



　卓球と弓道の地区予選を皮切りに、いよいよ高体連がスタートしました。３年生の多くはこの大会を最終目標に厳しい練習に励んできたのですから、その成果を思う存分出し切り、悔いの残らない試合を展開してくれることを心から願っています。
　本校は、今年度卓球の当番校に当たっています。開会式で、卓球部主将の望月 駿斗君が、力強く「選手宣誓」を行ってくれました。その姿がとても頼もしく、自校の応援にもつい

熱が入ります。「帯広での全道大会を目指して頑張れ～!!」

All for one, and one for all.　№30

R1. 5.17　「キャリア教育」

キャリア教育は旭川永嶺開校当時から力を入れている取組の一つです。多様な観点から職業を分析することで、個々に適する進路目標を形成していきます。キャリアシートを活用した自己分析や職業調べ、進路別ガイダンスや講話、さらには出前授業、体験学習等と、入学当初から系統的・継続的な活動を行っています。

今回は医療・看護希望者を対象とする「ふれあい看護体験」を実施しました。市内の総合病院や近隣の医療機関から多大なるご協力を得、講話、院内見学、体験学習等に参加させていただいています。

２年次生２６名、３年次３６名が参加し、座学ではけっして学ぶことのできない貴重な経験を数多くさせていただきました。





本校では、看護に特化した選択科目（看護入門や看護医療概論）、高大教科連携（旭医大での高度な実験）、看護ガイダンス、看護模試、そして看護体験等を有機的に結びつけることにより、看護進学をより確かなものにしています。

All for one, and one for all.　№31

R1. 5.22　「地域連携」

学校所在の町内会や市の交通安全課と連携し、「地域緑化運動（通称花いっぱい運動）」を実施しました。

この取組は、教育活動にご支援をいただいている地域の皆様と交流・親睦を深めることを目的に、ともに地域の明るい環境づくりを担っていこうというものです。



今年度も晴天の中、保健委員や有志ボランティア生徒など総勢８０名近くが、環状１号線のナナカマド植樹脇にきれいなマリーゴールドを植栽しました。

併行して、警察の許可を得、交通安全課のご指導のもと、生活委員が安全旗を振りながらドライバーの皆様に交通安全を呼びかけました。



All for one, and one for all.　№32

R1. 5.23　「国際交流報告会」

グローバル教育の一環として推進している「短期派遣海外研修」参加生徒の報告会を体



育館で実施しました。令和元年度のトップバッターは、昨年度末に「旭川市・韓国水原市青少年交流事業」に参加した３年次生 佐藤 虹華さんと、「北海道・ハワイ州高校生交換留学促進事業」に参加した同じく３年次生の 島尻 夏希さんのお二人です。

全校生徒を対象に、研修内容をパワーポイントを使いながらわかりやすく説明してくれました。訪問国は異なりますが、報告内容で共通していたことは、「日本とは異なる文化や風習に直に触れることにより、視野が一層広がり、見方や考え方にも幅ができた」ということでした。



グローバル化が進む中、国際社会の一員としての自覚を持ち、様々な価値観を持つ人々とともに協調して生きていく態度や、外国語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけることはとても大切です。

今後も同様の機会を数多く紹介していきますので、多くの生徒が積極的に参加してくれることを期待しています。

All for one, and one for all.　№33

＊エイリョウ・アラカルト　「いざ、全道・全国へ！」

先週から始まった高体連支部大会もいよいよ終盤にさしかかり、結果が続々と入ってきます。当番校業務を行った「卓球」では、女子団体がチームプレーで強豪校を破り、見事準優勝を果たしました。また、「弓道」では、男子個人が全道の出場権を手にしました。

「テニス」は、女子団体が優勝で２連覇、ダブルスでは優勝を含め３位までに３ペアーが占め、シングルスも優勝、準優勝に名を連ねるなど、圧倒的な強さを見せました。

高文連では、いち早く「放送」の大会が行われ、テレビドキュメントとラジオドキュメントの両部門でともに１位になるなど、目を見張る活躍ぶりです。



（テニス部：カップと賞状で溢れていますよ！）



（放送局：頼もしい仲間が沢山増えましたね！）

女子テニス部と放送局の皆さんに、校長室でお話を聞き写真を撮らせてもらいました。生徒たちの頑張りや礼儀正しさ、そして何より笑顔に、本当に心が癒やされます。

全道には、伸び伸びと大会の雰囲気を楽しむくらいの心持ちで望んでください！。校長室で応援し続けていますよ！「頑張れ～!!」